



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 港湾空港部	配布日時	平成 30 年 3 月 23 日 14 時 00 分
資料配布		

件名	大阪湾における「フェーズ別高潮対応計画」を とりまとめました ～港湾の堤外地における高潮被害低減の取り組み～
----	--

概要	<p>近畿地方整備局港湾空港部では、大阪湾で高潮発生が予想される場合の国や府・県・市（港湾・海岸管理者等）がとるべき段階的な行動計画「フェーズ別高潮対応計画」をとりまとめましたので、行動計画の内容をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none">・高潮が発生した場合、大きな被害が想定される大阪湾の堤外地を対象に、人的被害・情報伝達、物流機能の維持、生産機能の維持などについて、フェーズごとに行動計画を明確化・国や府・県・市（港湾・海岸管理者）が、それぞれ取るべき行動計画を策定・この行動計画は湾内各港で定めている港湾事業継続計画（港湾BCP）への反映も想定 <p>今後、堺泉北港をケーススタディとして、港湾の特性などを盛り込み、計画をブラッシュアップし、より実効性を高めていきます。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ 神戸経済記者クラブ 港湾空港タイムス 港湾新聞
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課長 <small>やまもと</small> 山本 <small>くに</small> 邦夫 (内線 6480) 同 課長補佐 <small>みやざき</small> 宮崎 <small>あきひろ</small> 章博 (内線 6481) TEL : 078-391-3101 (ダイヤル)
------	---

大阪湾のフェーズ別高潮対応計画

大阪湾における国の対応例

【事前準備・対応】

- 事前準備
 - ・施設の老朽化対策
 - ・重要施設(電源設備等)の嵩上げ
(海に近接する堤内地においても)
 - ・災害時の通信設備の用意(衛星電話等)
- 直前準備
 - ・潮位予測情報、降雨情報等の気象・災害情報の収集・整理

【段階的な防災行動計画】

時間の目安	フェーズ	行動開始のトリガー (気象庁の情報)	人命の安全確保、情報伝達等			物流機能の維持			生産機能の維持			
			情報共有・提供	施設管理の指示	その他	○移動・退避	○固定作業	○動かない資産	○移動・退避	○固定作業	○動かない資産	
台風最接近の1~5日前	①	台風進路予報・台風に関する気象情報(随時発表) 波浪注意報 強風注意報 高潮注意報 波浪警報又は波浪特別警報 暴風警報又は暴風特別警報 高潮警報又は高潮特別警報	○気象・海象情報の収集 (台風対策委員会等、気象台台風説明会出席) ○気象情報等内部共有	○直轄工事・直轄保有船舶対策指示	○連絡体制確保			○国から管理者へ水門・陸閘等の閉鎖状況確認依頼			○国から管理者へ水門・陸閘等の閉鎖状況確認依頼	
台風最接近の1日前	②		○警戒態勢(警戒体制)(港長) ※必要に応じて ○高潮特別警報の可能性言及(気象台)	○直轄工事・直轄保有船舶対策完了 ○防潮板の設置等	○災対本部注意体制 ○留まらざるを得ない職員以外は避難開始			○水門・陸閘等の閉鎖状況の情報共有			○水門・陸閘等の閉鎖状況の情報共有	
台風最接近の半日前	③		○大型船等避難勧告(第一避難体制)(港長) ※必要に応じて ○全船舶避難勧告(第二避難体制)(港長) ※必要に応じて		○リエゾン派遣準備 ○災対本部警戒体制							
台風最接近の半日前	④				○水門・陸閘等の閉鎖状況の情報共有			○水門・陸閘等の閉鎖状況の情報共有			○水門・陸閘等の閉鎖状況の情報共有	
暴風が吹き始める前に防災行動を完了												
台風最接近の6時間前			○浸水被害状況情報収集	○カメラによる監視								
台風最接近の数時間前			○被災状況の情報収集	○カメラによる監視	○災対本部非常体制							
高潮発生時			○国、管理者の被災状況の情報共有	○カメラによる監視	○協定団体の出動準備、資機材確保依頼 ○TEC-FORCE出動の準備(被災後) ○TEC-FORCE出動の検討			○国、管理者の被災状況の情報共有			○国、管理者の被災状況の情報共有	

※①本表は、国が実施する対応の一例を示したものである。

②表中の赤字は、大～最大規模高潮の発生が予想される場合に、中・小規模高潮時の対応に加えてとる対応例、青字は行動を早める対応を示したものである。

大阪湾における港湾・海岸管理者の対応例

【事前準備・対応】

- 事前準備
 - ・施設の老朽化対策
 - ・重要施設(電源設備等)の嵩上げ
(海に近接する堤内地においても)
 - ・災害時の通信設備の用意(衛星電話等)
- 直前準備
 - ・潮位予測情報、降雨情報等の気象・災害情報の収集・整理
 - ・水門・陸閘等の閉鎖に係る調整(人員確保、連絡体制等)及び動作確認
 - ・内水排水施設の状況確認等
 - ・飛散可能性のある施設の固縛
- ・防災行政無線(スピーカー)の整備
- ・ハザードマップ(堤外地及び堤内地)の周知

【段階的な防災行動計画】

時間の目安	フェーズ	行動開始のトリガー (気象庁の情報)	人命の安全確保、情報伝達等			物流機能の維持			生産機能の維持		
			情報共有・提供	施設管理の指示	その他	○移動・退避	○固定作業	○動かない資産	○移動・退避	○固定作業	○動かない資産
台風最接近の1~5日前	①	台風進路予報・台風に関する気象情報(随時発表) 波浪浪注意報 強風注意報 高潮注意報 波浪警報又は波浪特別警報 暴風警報又は暴風特別警報 高潮警報又は高潮特別警報	○気象・海象情報の収集 (台風対策委員会等、気象台台風説明会出席) ○気象情報等内部共有	○施設点検 ○防潮板、土嚢の設置等	○水門・陸閘等の閉鎖準備開始	○堤外地からの避難・水門閉鎖時刻の周知(電話等(随時))		○交通に影響のない水門・陸閘等施設の閉鎖司令	○堤外地からの避難・水門閉鎖時刻の周知(電話等(随時))	○交通に影響のない水門・陸閘等施設の閉鎖司令	
台風最接近の1日前	②		○警戒態勢(警戒体制)(港長) ※必要に応じて ○高潮特別警報の可能性言及(気象台)	○工事・保有船舶対策完了 ○水門・陸閘等の早期閉鎖(委託者への指示も含む)	○管理者から国へ水門・陸閘等の閉鎖状況報告 ○留まらざるを得ない人員以外は避難開始						
台風最接近の半日前	③		○大型船等避難勧告(第一避難体制)(港長) ※必要に応じて ○全船舶避難勧告(第二避難体制)(港長) ※必要に応じて	水門・陸閘等の閉鎖(委託者への指示も含む)	○管理者から国へ水門・陸閘等の閉鎖状況報告	○埠頭用地、臨港道路の見回り	水門等の閉鎖 ○交通に影響のある水門・陸閘等施設の閉鎖司令				水門等の閉鎖 ○交通に影響のある水門・陸閘等施設の閉鎖司令
台風最接近の6時間前	④						排水機場等の稼働				排水機場等の稼働
台風最接近の数時間前			○被災状況の情報収集、報告								
高潮発生時			○被災状況の情報収集、報告 ○国、管理者の情報共有		○協定団体の出動準備、資機材確保依頼						

暴風が吹き始める前に防災行動を完了

※①本表は、各港湾・海岸管理者が実施する対応の一例を示したものである。
 ②表中の赤字は、大～最大規模高潮の発生が予想される場合に、中・小規模高潮時の対応に加えてとる対応例、青字は行動を早める対応を示したものである。
 ③個々の陸閘等の閉鎖等の判断は、予測潮位や地盤高で個別に判断する。